

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	B & B (1泊朝食) 宿泊対応 地域飲食店情報整備事
事業主体 (連絡先)	安曇野で暮らすように泊まる実行委員会 (安曇野市商工会穂高支所内 0263-82-5820)
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業 ア特色ある観光地づくり イ商業の振興 ウその他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に関する
事業タイプ	①地域協同の推進に関する事業
総事業費	1,507,680円 (うち支援金: 1,125,000円)

事業内容

・地域内の特徴的でおもてなしの気遣いができる飲食店をピックアップし、安曇野を訪れるお客様に情報提供することにより多様性に富んだ安曇野の魅力を知ってもらう為の冊子を作成、配布する。(別紙2 参照) これを使ったスタンプラリー等のイベントを企画し、地域文化に触れる街歩きのかっかけを作る。

配布先としては、各宿泊施設、観光協会、商工会、市観光交流促進課、県事務所(東京・名古屋・大阪)、希望事業者などを予定している。

飲食店ピックアップについては「安曇野で暮らすように泊まる実行委員会」(以下 くらとま)メンバーの意見をもとに既成の情報掲載誌(冊子・マップ)にはない選定基準(味・地域色・独創性・価格・雰囲気・おもてなしの心遣い+α「推薦者の声・推薦ポイント」など)で「くらとま」メンバーが自信を持ってお客様のニーズを満足させることができ、お勧めできる店とする。(別紙参照)

・また、近年情報発信ツールとして必要不可欠であるインターネット(ホームページ・ブログ・Facebook・Twitter・InstagramなどのSNS)を利用した国内外向けのコンテンツの作成も地域活性化に向けて有効な手段である。

将来的に掲載した各飲食店の情報更新は、施設事業者が独自で行えるようにし、インターネットのメリットを生かしたリアルタイムの情報発信が出来るように工夫する。

随時の情報更新が不得手な飲食店については、メンバーにて臨機応変に対応する。(別紙3-1、3-2 参照)
・情報収集においては、「くらとま」メンバーが委託業者と同行取材し、事業の内容説明と情報収集を行うものとする。

各飲食店事業者の意識改革のかっかけとして、商工会・観光協会で毎年定期的に行われている料理講習会などへの参加を呼びかけ、本事業サイトの有効利用を促進し、活性化を図っていく。



(活動写真)

【飲食店情報収集取材風景】風

【目標・ねらい】

- ①観光客の滞留時間の延長
- ②リピーターの増加促進
- ③外国人個人旅行者の誘客促進
- ④異業種事業者の連携促進

※自己評価【 B 】

【理由】準備不足により飲食店情報の収集に手間取ったためと飲食店事業者の高齢化・後継者不足、また、各店舗の諸々の事情により事業参加に同意して頂けないところもあり、当初掲載目標としていた店舗数に達しなかった。
今後も粘り強く店舗情報の収集を行なって、地域活性化のための本事業を継続していく。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

観光を含めた地域の現状把握と今後の活性化へ向けての取り組みの必要性の確認、異業種間の情報共有と連携強化へ向けての基盤作りができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

情報内容の充実と情報発信の効果的方法の精査検討。

事業者ごとの取り組みはもちろんのこと、従来とは違った地域の魅力づくりのあり方を商工会・観光協会などと連携して事業者の意識改革を促進していく。

スタンプラリーなどを通して地域文化に触れる街歩きのきっかけを作り、魅力的な安曇野のファンづくりをし、リピーターの増加を図る。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある